

柳川で、暮らす

ほのかな静寂と小さい発見のまち

北原白秋生誕百
昭和六十二年一月

柳

930キロにも及ぶ掘割が連ねるまち、柳川。
江戸時代より、人々の清濁を併せ呑み、寄り添う
水の流れは、静かな日常を形成し、小さな驚きを
反映する。その豊かさは、柳川独自の文化を育み、
弛まない反復は、現代にいきる「われわれ」の渴き
を潤してくれる。

川



堀と城下町

300年前と変わらぬ町並み。

心の赴くままにそぞろ歩かせてくれる。







豊かな自然と営み

日本有数の穀倉地帯、筑後平野を支える矢部川、筑後川。広大な干潟と独特の生態系を有する有明海。そっと傍らにある、原風景。爽やかな風と仄かにかおる空気。喧騒を潜り抜けた、ささやかな贅沢が味わえる。



祭り と生活



奉納三柱神社
保加町

県指定無形文化財



生活の豊かさは、祭りの中にも顕われている。筑後地方最大の秋祭り「おにぎえ」や雛祭り「さげもん」を含む多種多様な祭りは、柳川暮らしの日常にリズムと活気を与えてくれる。



体験居住

ちくご地域ノ life lab

「柳川もえもん家」

柳川市の体験居住施設。掘割をながめながら、2パターンの居住方法で柳川を体験できます。

※もえもんとは、柳川方言で『シェアをする』という意味。

2 パターンの居住方法



プロジェクト居住型

まちづくり、地域イノベーションに関心がある方向け。
柳川に一定期間滞在し、自分なりの課題解決プロジェクトの立案・実行していただきます。



お試し居住型

柳川暮らしに興味がある方向け。観光ではなく、
実際住んでみることにより、移住・定住へのイメージ
を持っていただきます。

[詳しくは、こちらへアクセス](#)



柳川へ

西鉄福岡（天神）駅から、約 45 分。

福岡空港から、約 70 分。

